

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
体育科教育法	講義	2	高田 佳孝
【授業のテーマ及び到達目標】 体育授業のVTR視聴や実践を通して、小学校の体育授業の実践力を養う。 目標:児童にとって意味のある「よい体育授業」を計画、実践するための基礎的知識と技術の習得、授業づくり・教材づくり・観察分析及び評価法の要点を理解する。			
【授業の概要】 体育授業の実践を交えながら、体験的に学習指導要領の目標や内容、各領域の指導方法に関する知識や技術の習得を行う。			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス、学校体育の現状、小学校体育科の目的			
2. 体育科の目標論と教育課程論:学習指導要領の内容			
3. 体育授業における教材づくり、学習指導方法論			
4. 体育授業の観察・分析・評価			
5. 体育の授業づくり論:単元計画、指導案の作成			
6. 体づくり運動の単元計画、指導案の作成			
7. 器械運動の単元計画、指導案の作成			
8. 陸上運動の単元計画、指導案の作成			
9. 体づくり運動領域の実践を通じて、指導方略と指導技術を学ぶ			
10. 器械運動領域の実践を通じて、指導方略と指導技術を学ぶ			
11. ゲーム・ボール運動領域の実践を通じて、指導方略と指導技術を学ぶ			
12. 個人またはグループ毎による器械運動領域の指導案作成と模擬授業			
13. 個人またはグループ毎による陸上運動領域の指導案作成と模擬授業			
14. 個人またはグループ毎によるゲーム・ボール運動領域の指導案作成と模擬授業			
15. 本講義のまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:次回の授業内容について、学習指導要領で確認しておく。			
学習のあり方:小学校学習指導要領解説体育編を活用する。			
復習のあり方:留意点や重要なポイントについて、振り返る。			
【成績評価】			
授業態度(50%)、提出物(指導案など)(30%)、模擬授業(20%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
リフレクション・ペーパーを導入し、毎授業後に記入することで振り返りをする。			
【テキスト】			
文部科学省『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社			
【参考文献】			
高橋健夫ほか 編著 『新版 体育科教育学入門』 大修館書店			
高橋健夫 編著 『体育授業を観察・評価する』 明和出版			
岩田 靖 『体育の教材を創る』 大修館書店			